

NetSHAKER BlueRack対応UPS通信方法変更手順

(GSEE BIROS JUPITERの場合)

1. ネットワークサービス機能への変更手順

UPS のライセンス登録時に、「ネットワークサービス」にチェックを付け忘れて登録を行ってしまった場合は、以下の手順でネットワークサービス機能を有効にする事ができます。なお、本件に関する作業内容、障害に関するお問合せはお受けする事ができませんので、ご自身の責任において行ってください。弊社としては、一度 **NetSHAKER BlueRack** を初期化し、再度、「ネットワークサービス」にチェックを付けて UPS のライセンス登録をする事をお勧め致します。

■ ネットワークサービス機能を有効化する

1. telnet で **NetSHAKER BlueRack** にアクセスします。
2. admin ユーザでログインします。ログイン ID とパスワードを入力してください。パスワードは管理 GUI で入力する admin ユーザのものと同じです。

```
login: admin
```

```
Password: ****
```

3. su コマンドでスーパーユーザに変更します。su コマンドに続いてパスワードを入力してください。

スーパーユーザのパスワードは admin ユーザのパスワードと同じです。

```
$ su -
```

```
Password: ****
```

4. カレントディレクトリを/usr/ups/bin に移動します。以下のコマンドを入力してください。

```
# cd /usr/ups/bin
```

5. /usr/ups/bin/upsd デーモンを入れ替えます。

upsd のファイル名を upsd.org に変更します。以下のコマンドを入力してください。

```
# mv upsd upsd.org
```

upsd.net のファイル名を upsd に変更します。以下のコマンドを入力してください。

```
# mv upsd.net upsd
```

6. /etc/upstab ファイルを修正します。

vi エディタで/etc/upstab ファイルを開きます。以下のコマンドを入力してください。

```
# vi /etc/upstab
```

以下の 1 行を削除して、変更内容を保存してファイルを閉じてください。

```
netfunction: off
```

7. **NetSHAKER BlueRack** を再起動します。

ウェブブラウザから **NetSHAKER BlueRack** の管理画面にアクセスして、[サーバの管理] - [システム設定] - [電源] - [再起動] ボタンをクリックしてください

以上